

令和元年第3回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

6月21日～6月25日

質問順位

- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1. | 近藤久子 | 2. | 横路政之 |
| 3. | 政野太 | 4. | 門脇俊照 |
| 5. | 坂本義明 | 6. | 徳永泰臣 |
| 7. | 吉方明美 | 8. | 谷口隆明 |
| 9. | 五島誠 | 10. | 岩山泰憲 |
| 11. | 福山権二 | | |

庄原市議会

令和元年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	近藤 久子	いのち支える庄原プランについて	1
		望まない受動喫煙防止対策について	2
		学校適正配置計画について	3
2	横路 政之	地区防災計画について	4
		自転車保険加入の促進を求める取り組みについて	6
		ふるさと納税返礼品について	7
3	政野 太	本市の教育振興について	8
		新たな観光施策のあり方について	10
		人口減少時代に向けた自治体運営について	10
4	門脇 俊照	昨年の7月豪雨災害について	11
		安全安心で一日でも長く高齢者が運転できるまちづくり	12
5	坂本 義明	使用済み紙オムツの回収によるリサイクルについて	13
6	徳永 泰臣	庄原版DMOの設立について	14
		比婆山連峰の活用について	15
7	吉方 明美	ごみの分別を徹底し、焼却ごみを削減する取り組みを進めることについて	16
		地域・自治会組織強化の取り組みについて	17
8	谷口 隆明	水道事業の広域化の協議状況について	19
		「国連家族農業の10年」とその具体化について	19
		庄原市の地域づくりと学校再配置について	20
9	五島 誠	起業支援について	21
		農産物などの輸出について	21
		庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画について	22
10	岩山 泰憲	比和中学校、総領中学校、高野中学校や川北小学校などの統廃合の計画の中止について	23
11	福山 権二	第2期庄原市定員適正化計画について	24
		第2期庄原市長期総合計画（前期）の達成度について	24

一般質問日程

6月21日（金）近藤久子・横路政之・政野 太・門脇俊照

6月24日（月）坂本義明・徳永泰臣・吉方明美・谷口隆明

6月25日（火）五島 誠・岩山泰憲・福山権二

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. いのち支える 庄原プランに ついて	<p>平成31年3月、いのち支える庄原プラン(庄原市自殺対策計画)が策定された。庄原市において、平成25年から平成29年迄の5年間で、78の方が自ら命を絶たれている現実がある。その命を救える手立てが無かったのかを、私たちは改めて問い続ける責任がある。</p> <p>そこで、本プランの基本施策に掲げる取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 一般高齢者と比べ「うつ」の傾向が高い要支援高齢者への支援について。</p> <p>(2) 生活困窮者への支援としての、関係機関との連携、相談支援体制の充実について。</p> <p>(3) 勤務・経営問題への対応のうち、ハラスメント防止、相談体制の充実について。</p> <p>(4) 子ども自身のSOSの出し方や、自己肯定感を高める教育の推進について。</p>		市長 教育長	

順位	1	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 望まない受動喫煙防止対策について	<p>第3次庄原市健康づくり計画は、個人の健康づくりと、それを支える環境づくりによる健康寿命の延伸を目的とし、生活習慣病予防として喫煙習慣の改善が掲げられている。</p> <p>改正健康増進法や、広島県がん対策推進条例による、受動喫煙防止対策を踏まえた取り組みを伺う。</p> <p>(1) 2019年7月1日施行の行政機関の庁舎を含む第1種施設の本市の取り組みは。</p> <p>(2) 第2種施設については2020年4月1日施行となるが、市としての啓発活動について伺う。</p>		市長

順位	1	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 学校適正配置 計画について	(1) 現在児童数が16人の八幡小学校は、東城小学校への統合に向けて手続きが進んでいる。ここに至るまでの、保護者及び地域の意見集約までの手順と、その主な内容について伺う。		教育長
	(2) 東城小学校側の受け入れ態勢については、万全の対応が必要と思うが、今後のスケジュールについて伺う。		
	(3) 昨年9月の定例議会において、最も大きな課題として挙げられた、対象の保護者や地域に対しての、教育委員会からの説明を受け入れない1つの地域について、その後進展はあったのか。		
	(4) 第1グループの東城地域を除く、現在までの各小学校の取り組み状況について、伺う。		

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地区防災計画 について	(1) 近年、激甚化、頻発化する自然災害から身を守るためには「防災・減災を社会の主流」に押し上げるとともに、地域における防災力を向上させることが何より重要と考えるが、見解を伺う。		市長
	(2) 従来から国の「防災基本計画」があり、自治体を立てる「地域防災計画」などがある。それに加え町内会・自治会やマンションの管理組合などの地域コミュニティが、災害時の避難方法などを自ら立案する「地区防災計画」が、平成25年の災害対策基本法の改正で創設された。これは東日本大震災で自治体の行政機能がまひしたのを教訓に、平成26年4月に導入され、地域の特性に応じ、地区の範囲や活動について柔軟に規定できる制度になっている。今後、各地域で地区防災計画の策定が進むことが本市全体の災害対応能力の向上に繋がるとも考えるが、これに関する認識を伺う。		
	(3) 現在、本市では地区防災計画に関してどのような取り組みが具体的に行われているか伺う。		
	(4) 地区防災計画を市が認定することに対する認識と、その課題について伺う。		

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 地区防災計画 について	<p>(5) 災害時に乳児にすぐ飲ませることができる国産液体ミルクを備蓄する自治体がふえている。水や、水を沸かすための燃料の確保が難しい災害時に有効活用できると思うが、考えを伺う。また、液体ミルクを広く市民の方に認知してもらうため、乳児健診等で紹介、試飲してもらい、乳児のいる家庭でもいざという時に備えて備蓄してもらうようにしてはどうか。</p>		市長	

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 自転車保険加入の促進を求める取り組みについて	<p>自転車に関わる事故は、総数こそ減少しているものの、「自転車対歩行者」に限ると年間2,500件で横ばいが続いている。近年は、歩行中の女性をはねて重症を負わせた小学生の親に約9,500万円の支払いを命じるなど、高額賠償の判決が相次いでいる。ところが、保険への加入は十分に進んでいないのが現状であり、2017年に歩行者が死亡または重症を負った自転車事故のうち、保険に加入していた加害者は6割にとどまっている。自転車保険は、加入した保険の種類によって補償額が異なるものの、年間数千円の保険料で最大1億円程度の個人賠償責任補償が主流となっている。低額の費用で手厚い補償を得られるのが特徴である。しかし、保険に未加入だったため高額の賠償金を払えなければ、被害者は十分な補償を受けられず泣き寝入りするしかない。このため、住民に自転車保険の加入を勧める自治体がふえている。いずれの自治体も、通学や通勤を含め自転車を利用するすべての人が対象になる。また、自転車の販売店やレンタル店に対しても、購入者や利用者が保険に加入しているかどうか確認し、保険加入を勧めるよう協力を求めている。</p>		市長 教育長	

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 自転車保険加入の促進を求める取り組みについて	(1) 本市の自転車事故は毎年発生しているが、自転車事故対策と、その周知についてどのように取り組んでいるのか。		市長 教育長
	(2) 安全教育については、どのように取り組んでいるのか。		
	(3) 市民の自転車保険の加入状況とその周知について伺う。		
	(4) 自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定した自治体は広がりを見せているが、どのように認識しているのか。		
	(5) 本市の自転車保険加入の促進の取り組みについて伺う。		
3. ふるさと納税返礼品について	本市が実施しているふるさと納税は、本市を応援して下さる方への感謝の思いで、使途が指定できる7つの事業のほかに様々な返礼品が用意されている。本市では少子高齢化に伴い一人暮らしの方も増加している中、見守りも様々な形でおこなわれているが、ふるさと納税の返礼品に、市内に一人で暮らす家族の安否を定期的に確認できるようなサービスを追加してはどうか。		市長

順位	3	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の教育振興について	<p>(1) 平成31年1月に開催された総合教育会議に付議された「平成30年度全国学力・学習状況調査の結果」によると、調査対象となった小学6年生及び中学3年生においては、1教科を除き、平均正答率が全国平均を上回る結果となり、本市の教育施策の成果であると認識している。一方で、「平成30年度庄原市児童生徒の体力・運動能力調査結果」によると、小学生、中学生の体力、運動能力の数値が全国平均を下回っている結果が多くなっており、特に中学生男子の握力、20メートルシャトルラン、50メートル走、ハンドボール投げが2年連続で全国平均を下回るなど、本市の中学生の運動能力からみる健康状態について大変危惧をしている。調査結果を踏まえ、その要因についてどの様に分析をしているのか。また、その対策はどの様に考えているのか、教育長の見解を伺う。</p>		教育長

順位	3	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の教育振興について	<p>(2) 平成 17 年には全国で 17 校、平成 30 年度には全国で幼稚園、小・中学校、高校、特別支援学校など合わせて 5,432 校（平成 29 年度対比 1,832 校増）のコミュニティスクール（以下CS）が設置され、全国的に機運が高まり、CSを設置する自治体が急速に増えている。本市においても、平成 29 年 12 月定例会で設置に向けた検討の余地があるとされたが、その後のCS設置に関しての検討をされたのか。また、その必要性についてどのような認識であるのか教育長の見解を伺う。</p> <p>(3) 現在、進められている「学校適正規模、適正配置計画」に基づき、八幡小学校が令和 3 年度に東城小学校に統合されるにあたり、これまで八幡小学校の児童と地域で培われてきた固有の文化をどのように子どもたちに継承されようとしているのか教育長の見解を伺う。</p>		教育長

順位	3	質問者	政野 太	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 新たな観光施策のあり方について	<p>(1) 平成31年3月に策定された「第2期庄原市観光振興計画」の基本施策に、「里山資源を活かした観光消費額の向上」の里山ステイの推進へ「合宿の誘致の推進」とあるが、具体的な考えを市長に伺う。</p> <p>(2) 国は2016年に、「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、「スポーツ文化ツーリズム」を推進している。本市で行われている「ひろしまクロスカントリー大会」、「ラフティング体験」、「マラニック」など、まさにそれにあたる事業だと認識している。本市にはスポーツ施設として活用できる運動公園、スキー場などの資源が多くある事からも、さらに観光振興としての活性化策が期待できるものと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長				
3. 人口減少時代に向けた自治体運営について	<p>総務省では平成29年より、自治体戦略2040構想研究会を設置し、人口減少時代における持続可能で質の高い行政サービスのあり方について研究を行い、第1次、第2次報告を行っている。その報告の中には、「スマート自治体への転換」、「圏域マネジメントと二層制の柔軟化」についての提言があるが、その必要性についてどの様に認識をしているのか市長の見解を伺う。</p>	市長				

順位	4	質問者	門脇 俊照
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 昨年の7月豪雨災害について	<p>大きな被害をもたらした昨年の7月豪雨災害では、平成22年7月に発生した豪雨災害を教訓に、早い対処により人命に関わるような事例は発生しなかった。しかし、万全の災害対策も、昨年の災害を振り返ると改善が必要とされる点があるのではないか。</p> <p>(1) 昨年の豪雨災害における教訓は、今年度に活かされているか伺う。</p> <p>(2) 避難勧告、避難指示の告知、避難行動について、昨年の状況と改善策を伺う。</p> <p>(3) 高齢者、要介護者、障害者の避難誘導、避難について、昨年の状況と改善策を伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 安全安心で一日でも長く高齢者が運転できるまちづくり	<p>高齢者が起こす運転事故が大きな社会問題になっている。報道番組、とりわけワイドショーでは、高齢者の運転規制を強化する意見として、「70歳以上は一日の運転距離の規制」とか「80歳で運転免許証返納」など無責任な発言があり、番組司会者も制止することもない。しかし、多くの発言者は都会的意見で田舎の実情が分かっていない。</p> <p>私たちが暮らす地域で高齢者の運転に対する規制強化、運転免許証返納を求める法律ができればどうなるか想像はできると思う。現在でも、70歳で高齢者講習、70歳から自動車へ「高齢者運転標識」の表示、75歳で認知機能検査を受講しないと免許証が受領できない。これからも更なる受講が必要になるのは必至である。本市で高齢者が一日でも長く安全安心で運転できる庄原市独自の環境を考えてみてはどうか。</p> <p>(1) 高齢者への運転規制について見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢者が無事故で運転できる環境づくりについて見解を伺う。</p> <p>(3) 高齢者が安全安心して運転できる、日本一高齢者の運転事故が少ないまちづくりに取り組んでみてはどうか。</p>		市長	

順位	5	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 使用済み紙オムツの回収によるリサイクルについて	使用済み紙オムツは、焼却処分の際、高温となるため炉に負担がかかる。新焼却施設建設にあたり、新施設でも更なる長寿命化のため、リサイクルにも包括的に取り組む必要がある。		市長
	(1) 使用済み紙オムツの処分の現状はどうか。		
	(2) 使用済み紙オムツを回収し、ペレットボイラーの燃料にリサイクルできるのではないか。		
	(3) ペレット燃料へのリサイクルについて、回収業者等への委託による運営はできないのか。また、それに対する補助金はあるのか。		
(4) ペレット燃料へのリサイクルは、本市単独ではなく、例えば三次市と庄原市で共同して運営する方法もあるのではないか。			

順位	6	質問者	徳永 泰臣	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 庄原版DMO の設立について	<p>庄原版DMOは多様化する観光マーケットを正確なデータを基に分析し、マーケティングにもとづいた戦略や戦術の立案を行い、地域全体で「稼げる庄原」にするためのコーディネートとプロデューサー役として庄原市の観光振興事業の中核を担うことを目的に来年4月の設立を目指されているが、進捗状況と今後の方針について伺う。</p> <p>(1) 庄原版DMO設立準備の現在までの状況について伺う。</p> <p>(2) 庄原市観光協会事業（本部事業と支部事業）の今後の方針について伺う。</p> <p>(3) 他の市町DMOとの連携について伺う。</p>			市長		
2. 比婆山連峰の 活用について	<p>これまで比婆山については多くの議員が質問されてきた。古事記編纂から1300年が経過し、出雲地方ではかなり大規模な行事が行われ、多くの集客も図られたと聞いている。市長は、比婆いざなみ街道物語として打ち出され、ガイド本、「日本誕生の女神イザナミが眠る比婆の山」の発売など当初はかなり力を入れられていたように思う。しかし、その後の取り組みがあまり見えてこない。比婆山には国生みの女神が葬られていると伝わる御陵があり、それをもっと世の中に広める必要があると思う。出雲は出雲神話として上手く観光</p>			市長 教育長		

順位	6	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2. 比婆山連峰の 活用について	<p>資源として使っているが、庄原市の比婆山神話はあまり広がっていない。この点を今後どのように広げられるのか伺う。</p> <p>(1) 庄原市の比婆山神話はあまり広がっていないと思うが、どのように認識され、今後どのように取り組まれようとされているのか伺う。</p> <p>(2) 本年度開催の「比婆いざなみ街道マラニック」で、比婆いざなみ街道の本丸ともいえる熊野神社などを今回から外されたことについて見解を伺う。</p> <p>(3) 比婆山御陵の門梅やイチイ群生林等の保存について伺う。</p> <p>(4) 比婆山連峰のトイレの現状について伺う。</p> <p>(5) 今後、比婆山連峰の資源保護の為、環境保全協力金などの必要があるのではないかと考えるが、見解を伺う。</p>			市長 教育長

順位	7	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. ごみの分別を徹底し、焼却ごみを削減する取り組みを進めることについて	<p>本市は、新たな焼却場建設を進めているが、これを機会に、市民の意識改革と、焼却ごみの削減に努める必要がある。</p> <p>そのための方策について、市は今後どのような取り組みをしていくのか伺う。</p> <p>(1) 現在1年間の焼却ごみの搬入量とそれに係る処理経費、および10 kg当たりの処理経費はいくらか。</p>		市長
	<p>(2) 焼却ごみの中に、異物が混入しているなどの問題は発生していないか。具体的な異物はどのようなものがあるか。金属探知機は活用しているのか。</p>		
	<p>(3) 焼却ごみの搬出の仕方について、市民に徹底した指導ができていないのではないかと。焼却ごみの袋を半透明にしている理由と効果は何か。</p>		
	<p>(4) 焼却場へ直接持ち込まれるごみの窓口点検が甘いと思うが、どのような点検をしているのか。</p>		
	<p>(5) リサイクルごみ（容器包装プラ、ペットボトル、ビン・缶、プラ製品）の最終処分はどうなっているのか。また、リサイクルごみは業者が買い取っているとのことだが、買い取り価格はいくらか。</p>		

順位	7	質問者	吉方 明美	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. ごみの分別を徹底し、焼却ごみを削減する取り組みを進めることについて	(6) プラごみが海外の発展途上国へ輸出され、問題になっている。本市のプラごみの行方を追跡調査しているのか。		市長			
	(7) 新たな焼却場の炉の性能はいかがか。プラごみの焼却でダイオキシンの発生などの問題はあるのか。					
	(8) 焼却ごみの削減を徹底させるために、リサイクル用のごみ袋の値段を下げることで、リサイクルへ誘導できるのではないかと考えるがいかがか。					
	(9) 持ち込み焼却ごみのチェック体制を強化するため、クリーンセンターの窓口の増員が必要と考えるがいかがか。					
2. 地域・自治会組織強化の取り組みについて	<p>人口減少に伴い、地域力の低下がみられる。若者を移住させる取り組みがなされているが、移住後の対応は十分なのか、検証が必要と考える。</p> <p>また、一戸建て住宅や集合住宅への入居者、外国人労働者に対して、地域・自治会活動へ参加を促す取り組みがなされているかの検証も必要である。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市は、移住者に対して、地元地域とどのように関わってほしいと思っているのか。</p>		市長			

順位	7	質問者	吉方 明美	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 地域・自治会 組織強化の取 り組みについ て	<p>(2) 新たに一戸建て住宅や集合住宅等に入居される人たちは、その地域の自治会へ加入しているのか。また、自治会への加入は地元任せなのか。</p>		市長	
<p>(3) 市外からの移住者や、新規住宅への入居者、外国人の方たちとともに、町づくりをしていく必要がある。自治会活動を通じて地域力を高めることが、地域での支え合いにつながると思うが、どのような取り組みをされようとしておられるのか。</p>				

順位	8	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 水道事業の広域化の協議状況について	(1) 水道事業の広域化は、地域の自然的、社会的条件に応じた計画を立案し実施するという水道法の理念にそぐわない。市長の基本的な認識と現在の協議状況を伺う。		市長
	(2) 水道法が大幅に「改正」されたが、広域化など水道の在り方を決めるのは地方自治体である。本来、議会はもちろん、住民も参加した議論を尽くして、本市の水道事業の今後を決めることが重要と考えるが、どのように進めるのか伺う。		
2. 「国連家族農業の10年」とその具体化について	(1) 家族農業・小規模農家の役割を重視し、各国が支援しようと、国連が呼びかけた「家族農業の10年」が、今年からスタートしている。昨年末の国連総会では「農民の権利宣言」も採択されている。中山間地域の本市でこそ具体化すべき方向だと考えるが、市長の見解を伺う。		市長
	(2) 種子法廃止への抵抗手段として、各県で代替条例の制定が進みつつあるが、広島県でも制定するよう働きかけるべきである。これは一例だが、このような国頼みでない地方独自の農林業支援策を進めることが、農村での雇用の拡大、人口流失の歯止め、定住対策の要になると考えるが、市長の見解を伺う。		

順位	8	質問者	谷口 隆明		
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. 庄原市の地域づくりと学校再配置について		<p>庄原市の「学校適正配置検討委員会」は、わずか6回、半年間で結論を出している。委員の公募や関係地域・保護者の意見聴取、パブリックコメントといった民主的な取り組みは見られない。また、検討内容も複式学級問題に傾斜し過ぎている上に、「学習指導要領は複式を想定していない」というのが大きな根拠になっている。教育にはいろんな考えがあり、これでは地域、保護者の理解を得ることは難しい。文科省の「手引き」でいう、「地域コミュニティの核としての性格への配慮」「学校統合に関して留意すべき点」といった内容への配慮の不足が最大の問題である。これらの点を自覚して、計画の再検討・見直しを行わないと、良い教育環境、さらには良い地域づくりはできないのではと懸念する。教育長の見解を伺う。</p>		教育長	

順位	9	質問者	五島 誠	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 起業支援について	<p>全国的な事例をみても、新規の創業や社会課題をビジネスの考え方で解決する社会起業家が地域に誕生する事で地域経済の活性化や社会福祉の向上に寄与している。本市においては、まだまだ起業などに関する機運醸成ができていないと考えるが、以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 本市の起業支援の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 起業支援における大学や民間団体、業者との連携について伺う。</p> <p>(3) 補助金や総合窓口も大切であるが、起業環境の整備や起業家同士のつながりづくり、中高生も含めた市民啓発が重要と考えるが所見を伺う。</p> <p>(4) 本市の起業支援の今後の展望について伺う。</p>				市長 教育長	
2. 農産物などの輸出について	<p>農業振興計画でもふれられているが、本市の農産物や加工品を輸出も含めて販路を拡大していかなければならないと考えるが、所見を伺う。</p>				市長	

順位	9	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原市立学校 適正規模・適正 配置基本計画 について	<p>(1) 平成 29 年 12 月定例会でも質問をしたが、統合後の地域づくりについて、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 現在、地域ごとに説明会など対応されているが、難しい局面に入っている地域も見受けられる。この計画どおりに進めていく以外には考えておられないのか、所見を伺う。</p>		市長 教育長

順位	10	質問者	岩山 泰憲	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>1. 比和中学校、総領中学校、高野中学校や川北小学校などの統廃合の計画の中止について</p>	<p>現在、本市において、比和中学校、総領中学校、高野中学校や川北小学校などの小中学校の統廃合計画を進めているが、文部科学省の指導の手引きにおいて、統廃合計画を進めるに当たっては、地域の実情や地域の声を尊重して丁寧な説明をして住民の皆さんの理解を得られるような計画案を作り、方針を決めるように指導している。本市の場合、地域住民に対する細やかな説明をする前に、教育委員会で検討委員会を立ち上げ、先に方針を決定してから地域に説明をしていることが問題であるとする。教育委員会の計画により、市内の各地域で説明会を持たれていると思うが、その反応はいかがか伺う。</p> <p>また、この度の統廃合計画は中止すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。</p>		<p>教育長</p>	

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 第2期庄原市 定員適正化計 画について	2014（平成26）年に策定した第2期庄原市 定員適正化計画が2021（令和3）年に最終年 を迎えるが、この計画の実施状況と今後の定 員適正化の方向性について伺う。		市長
2. 第2期庄原市 長期総合計画 （前期）の達成 度について	（1）2016（平成28）年に策定した第2期庄 原市長期総合計画は、来年度で前期を終了 するが、現時点で林業振興関連の目標設定 の達成度について伺う。		市長
	（2）市長は市の林業振興に関して、国や県 の関係機関に様々な要望活動を展開されて いるが、その成果はどのように結実してい るのか伺う。		